

<(B)奨学金対象の 6つの分野 とは>

ロータリーの掲げる下記6つの重点分野をいいます。

1. 平和と紛争予防 / 紛争解決、
2. 疾病予防と治療、
3. 水と衛生
4. 母子の健康、
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

ロータリー財団のグローバル補助金は、これらの分野において仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院留学を支援します。ロータリー財団がグローバル補助金申請者を審査する際は、各分野において以下の点が考慮されます。

<各分野における(B)ロータリー奨学生 審査時の考慮点>

平和と紛争予防 / 紛争解決

ロータリーは、平和と紛争予防 / 紛争解決のための研修、教育、実践を支援します。

1. 平和と紛争予防 / 紛争解決の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
2. 平和と紛争予防 / 紛争解決に関連する履修課程。
 - a. 望ましい履修課程の例として、紛争予防 / 紛争解決、平和と正義の研究、平和と紛争を専門に扱う国際関係や法律などがあります。
 - b. 平和と紛争問題に直接焦点を当てた履修課程である場合は、審査の際に有利となります。
 - c. 一般的な国際関係や法律は、審査の際に有利とはみなされません。
3. 平和と紛争予防 / 紛争解決に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

疾病予防と治療

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修を支援します。

1. 疾病予防と治療の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
2. 疾病予防と治療に関連する履修課程
(例：公共保健、看護学と医学の修士・博士号取得など)。
3. 疾病予防と治療に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

水と衛生

ロータリーは、安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援します。

1. 水と衛生の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴
2. 水と衛生に関連する履修課程
(例：水科学 / 水工学、水管理、環境科学、疫学、寄生虫学など)
3. 水と衛生に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

母子の健康

ロータリーは、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。

1. 母子の健康の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
2. 母子の健康に関連する履修課程(例：疫学、栄養学、グローバルヘルス、公共保健、保健推進、看護学・医学の学位課程など)
3. 母子の健康に関連した、申請者の将来のキャリア計画

基本的教育と識字率向上

ロータリーは、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。

1. 基本的教育と識字率向上の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
2. 基本的教育と識字率向上に関連する履修課程
(例：教育、識字、カリキュラム開発、特別教育、学校経営など)
3. 基本的教育と識字率向上に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

経済と地域社会の発展

ロータリーは、人々が生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援します。

1. 経済と地域社会の発展の分野における申請者のそれまでの職歴および活動歴。
申請者は、自分の仕事が貧しい人々や十分な支援を受けていない人々の経済的福祉にどのように貢献したかを明確に示すことが求められます。
2. 経済と地域社会の発展に関連する履修課程。
 - a. 望ましい履修課程の例として、経済と地域社会の発展に焦点を当てた社会科学のコース、ソーシャルビジネスやマイクロクレジット（小口融資）を専門とする経営学位などがあります。
 - b. 以下のような履修課程は、審査の際に有利となります。
 - i. 草の根の経済発展戦略に焦点を当てたもの。
 - ii. 貧しい地域や支援の行き届いていない地域の経済問題に焦点を当てたもの。
 - iii. ソーシャルビジネスの開発を支援するもの（例：経営学修士課程においてソーシャルビジネス関連分野に特化した履修コースなど）。
 - iv. コース名に「地域社会の開発（community development）」を含むものや、地域社会の開発に特化したコース。
 - c. 以下のような履修課程は、審査の際に有利とはみなされません。
 - i. 純粋に理論だけの経済学またはマクロ的な経済学
 - ii. 通常の経営学修士課程（MBA）など、一般的な民間ビジネスを扱うもの。
 - iii. 地域社会の開発と一般的な形で結びつけただけで、履修コースの名称に「地域社会の開発（community development）」という言葉が入っていなかったり、地域社会の開発に特化したコースではないもの。
3. 経済と地域社会の開発に関連した、申請者の将来のキャリア計画。
 - a. 以下のようなキャリアは、審査の際に有利となります。
 - i. 貧しい地域や支援の行き届いていない地域の経済的福祉の改善に焦点を当てたもの。
 - ii. 非営利もしくは社会的事業におけるキャリア。
 - b. 以下のようなキャリアは、審査の際に有利とはみなされません。
 - i. 民間企業や営利企業での一般的なビジネス活動に焦点を当てたもの。

< 重点分野：目的と目標（2012年7月）より抜粋転記 >